

水よりも後れて曲がり花筏	うつむけるぼうたんの顎持ち上げし	羽音大きく白鳥に重さあり	柔らかき薔薇の棘なり小糠雨	青麦のその勢ひを活けにけり	ハイカーの大きなりユツク山笑ふ	船室の窓は真四角おほる月	見つからぬやうに土筆の群れてをり	水めぐる町の明るく燕くる	咲き満ちて重たくなりぬ夕桜	蝶の昼乱舞乱舞の三つ巴	真つ直ぐに春大根を引き拔けり	ゆつたりとうつとりと揺れ八重桜	チューリップ前へ倣へは胸張つて	鶯餅腹ふつくらと柔らかし
増山	安田	永山	中南	福井	中林	中原	小野	成井	千本	柏	福井	斧田	福田	山田
きみ	青葉	幸子	奈奈	隆子	淳子	修子	明子	侃	裕子	せつ江	史郎	綾子	信子	壽子

能面をつけて重たし花の昼

無人駅降りて菜の花明かりなり

一房の藤垂れ溪の水迅く

二の腕に赤子の温みチューリップ

三椶の花の群生黄金色

蜷の上透明な水過ぎてゆき

神泉のあをあをと湧き藤の昼

鶯や竹林の奥明るくて

満開の杏の花の頼りなし

残る鴨互ひを視野の中に置き

竜天に登り棚田の丸四角

春の波ぐいと灯台押し上げて

ふらここの頂点にあるしじまかな

初音聞くダムは静かに水湛へ

門の奥にも満開の桜なり

藤田 さち子

伊藤 美津子

廣瀬 茂雄

長島 亜矢子

檜村 宏子

橋本 公子

小林 恵美子

大内 美津子

池内 雅一

山口 はる江

山本 裕美

菊池 二三夫

倉持 たけし

大森 静江

押尾 弘子